

# 令和2年度 第1回浜田市水道事業審議会 会議録

日時：令和2年8月12日(水)13時30分～14時50分

会場：市役所本庁舎5階 議会全員協議会室

## 1 上下水道部長あいさつ（要旨）

- ・ 本審議会は、水道事業の円滑な運営を図ることを目的に、水道事業に関する重要事項について調査審議することを所掌事項として、従来の浜田市水道料金審議会を発展的に改編するかたちで、昨年度より設置されている。
- ・ 昨年度は、計3回の審議会を開催し、浜田市水道事業の現状について報告し、水道ビジョンや経営戦略、施設の耐震化及び更新計画などの水道事業に関する基本計画について説明したうえで、委員の皆さんから意見をいただいたところである。
- ・ 本日の審議会に於いては、令和元年度の水道事業会計の決算状況について示し、決算数値が前年度対比でどのように推移したのか、また、各種の経営指標がどのような水準にあるのか、更には、平成28年度末に策定した向こう10年間の収支計画としての経営戦略と比べた場合に、どの程度の数字の乖離が生じているのかについて、委員の皆さんに示したいと考えている。
- ・ また、老朽化が進む水道施設の計画的な更新により、安定的な給水の確保を図ることも大きな課題のひとつであるので、本年度はどの地域の配水管の更新に取り組む予定であるのかについても説明したい。委員に於かれては、忌憚のない意見を願う。

## 2 委員の交代について（報告）

令和元年度末をもって、3名の委員が退任された。これに伴い、各推薦団体から後任委員の推薦があり、4月1日付けで次のとおり就任された。

- ・ 三隅自治区地域協議会 委員 いしかわ まさし 石川 正史
- ・ 浜田市PTA連合会 副会長 おきた しんじ 沖田 真治
- ・ 石央商工会 事務局長 やまかわ しゅんじ 山川 俊二

## 3 審議会委員自己紹介

名簿順に自己紹介あり。

## 4 欠席委員の報告

金城自治区地域協議会 井川委員、三隅自治区地域協議会 石川委員、石央商工会 山川委員、島根県農業協同組合いわみ中央地区本部 徳田委員、以上4名の委員が都合により欠席との報告あり。

## 5 事務局職員自己紹介

上下水道部長から順に自己紹介あり。

## 6 会議成立の宣言

本日の出席委員は11名で、浜田市水道事業審議会条例第6条に規定する定足数に達していることの報告あり。

## 7 議題審議

資料に基づき、事務局から説明後、次のとおり質疑応答あり。

### (1) 令和元年度 浜田市上水道事業会計決算状況について

#### ア. 財務諸表の前年度比較について

	決算書頁	発言者	質問等要旨	回答要旨
1	P15	岸委員	固定資産建設仮勘定について、説明いただきたい。	翌事業年度に繰越された工事に関連する前払金、給与などであり、竣工に伴い各資産科目へ振り替わることとなるものである。
2	〃	〃	固定資産建設仮勘定の工事は、翌事業年度で完工するものと考えてよいか。	お見込みのとおりである。
3	〃	〃	流動資産未収金が、対前年比2千万円程度増加しているが、この中には回収困難なものは無いという認識でよろしいか。	不納欠損となるものが若干含まれているが、割合としてはごく僅かである。未収金が増加した要因は、料金改定（値上げ）に伴うものである。
4	P16	宮本委員	固定負債が、4億4千万円程度減少していることについて、説明いただきたい。	企業債の借入と償還の差額である（借入額約3億2千万円に対して償還額7億6千万円）
5	P9	佐古委員	営業費用の合計額は、減価償却費を別記した方が分かり易いとする。	検討させていただきたい。

イ. 令和元年度決算に基づく経営指標の状況について

	発言者	質問等要旨	回答要旨
1	岸委員	旧簡易水道事業との統合に伴い、各種数値が悪化したことはやむを得ないとする。一方、有収率は平成26年から低位・横這いの状況にあり、県内では浜田市と益田市の低い数値が目立つ。改善していく必要があると思うが、原因と今後の対策についてお示しいただきたい。	原因としては、管路の老朽化に伴う漏水であると考えている。アセットマネジメントに基づく管路更新により改善を図っていききたい。
2	〃	有形固定資産減価償却率や管路経年化率は、類似団体と比較して、むしろ低い状況であるにもかかわらず、有収率が低い状況であることについて、認識を伺いたい。	旧簡易水道区域の管路は、法定耐用年数を超えていない比較的新しいものが多く、旧上水道区域の管路は法定耐用年数を超えている古いものが多い。一方、給水量は、旧上水道区域が全体の約2/3を占めており、特に、市役所周辺の給水量が多い管路の老朽化が著しいために、漏水量が多く、有収率を押し下げる要因となっている。更に、竹迫配水地の稼働に際して、送圧を以前よりも高く設定しており、このことも漏水量の増加原因になっていると考えている。今後は、これらの地域の管路を重点的に更新していくことにより、改善を図りたい。
3	三浦委員	以前、弥栄自治区の有収率が低い原因について、「山中に管路が敷設されているため、漏水個所の特定と改修が困難であるため」という回答であった。一方、先ほど旧簡易水道区域の管路は比較的新しいものも多く有収率が高いという説明があったが、この不整合について説明いただきたい。	弥栄自治区においては、山中に管路が敷設されているところが2箇所あり、うち1箇所は道路内へ代替管路を敷設した。先程は、市の管路の全体像について説明したものであり、やはり全体としては旧簡易水道区域の管路の方が旧上水道地域の管路よりも新しいということである。自治区別有収率データについては、機会があればお示ししたい。
4	鈴木委員	管路経年化率の変動幅が、(類似団体と比較して)大きい理由について、説明いただきたい。	平成29年度までは、旧上水道分のみの数値となっている。平成30年度に於いて、比較的管路の新しい旧簡易水道と統合したことにより、数値が改善したもの

			である。また、市町村合併前においては、管路延長の計上方法が各事業体で異なっており、統合時にこれを統一したことも数値を押し下げた一因である。
5	宮本委員	施設利用率について、適正な基準というものがあればお示しいただきたい。	一般的には高い方が良いとされているが、明確な基準はない。類似団体と比較することで、ある程度評価を行うことは可能であるとする。現状では、類似団体よりも高い数値となっており、効率的な施設運営が行われていると評価できる一方で、有事の際の余力には乏しいと言える。

ウ. 経営戦略の試算値と令和元年度決算数値の比較について

	発言者	質問等要旨	回答要旨
1	三浦委員	損益計算書の営業外収益の中に4億2千万円もの「他会計補助金」がある。市の一般会計からの繰出しについて、今後も継続的に繰出しを行う必要があるのであれば、不採算地域を明らかにした方が市民に説明しやすいのではないかと考える。このことについて、所見を伺いたい。	他会計補助金の中には、水道料金改定（値上げ）に伴う激変緩和のためのものも含まれている。また、繰出しは統合後10年間の時限的なものもあり、その後は、旧簡易水道部分を含めた自立的経営が求められる。本日は、不採算地域に関する資料を持ち合わせていないが、今後、機会があればお示ししたい。
2	鈴木委員	給水人口の推計値は、実績に基づく数値という認識でよろしいか。	お見込みのとおり、過去5年間の実績の平均値を基に算出している。しかしながら、経営戦略上の推計値と実際の数値が乖離してきており、市の総合振興計画との整合を図るなど、より実態に見合ったものとなるよう修正を加えていきたい。
3	佐古委員	水道料金改定（値上げ）に伴う激変緩和のための市の一般会計からの繰出金は、損益計算書のどの科目に含まれているか、お示しいただきたい。	営業外収益の「他会計補助金」に含まれている。
4	〃	激変緩和のための市の一般会計からの繰出金は、臨時的な収益であ	検討させていただきたい。

		り、その他の経常的な収益とは分けて表記すべきであると考えてる。	
5	豊田会長	有収水量の計画値は、実績に近い数値である一方で、給水収益の計画値が実績と大きく乖離している理由について、お示しいただきたい。	経営戦略を策定した当時は、平成30年度から料金改定（満額値上げ）を行う予定であったが、その後、激変緩和を目的として3年をかけて段階的に引き上げることとなったため、このような乖離が生じたものである。

(2) 令和2年度 建設改良事業の内容について

	発言者	質問等要旨	回答要旨
1	豊田会長	また別の機会で構わないので、自治区別の管路更新実績数値をお示しいただきたい。	承知した。

8 その他

今年度の審議会は、2回程度を予定しており、次回は、年度末頃の開催となる見込み。また、次回審議会の議題は、令和3年度予算についてが主題となる。

以 上